

# 花開けば必ず眞実を結ぶ

山主

黒田大周

中村元先生といえは文化勲章受章者としてごなたも御存知かと思ひますが、国内のみならず、仏教哲学の權威として世界中に知られている大学者ですが、過般『中外日報』に、「いまの日本は、世界の荒波の中に置かれてあり、仏教も世界的な視野をもつて活動するのぢなければ、日本人を指導することはできないし、いわんや外国に向つて働きかけることは不可能だ」と申されて、善光寺海外留学僧派遣育英会に心から賛同して下さいました。この記事を一読した私は、「これ人に会うなり」の感を深くし、中村元先生を育英会の名誉顧問にお迎えすべく決意し、早速参上してお願い申上げたところ、御快諾は勿論のこと大変よろこばれ、激励してくださいました。私は、この日ほど大きな感動にふるえたことはなく、どんなことがあつても絶対にやむじげない」と、誓いを新たにしました次第であります。

一昨年に発足した善光寺海外留学僧派遣育英会は、昨年、黄檗宗の田中智誠君、浄土宗の梅田尚平君をタイ国ワット・パクナムに派遣し、今年は、カルカタ大学博士課程在学中の浄土宗の安井隆同君をインド留学僧に決し、曹洞宗の河内義宣君をアメリカ・ロスアンゼルス禅センターに派遣しました。目下のところ、年々派遣できるのは二、三名に過ぎませんが、しかし、小水の常に流れて則ち能く石を穿つが如く、十年二十年の後には、善光寺学僧の大きな力の輪が必ずや仏教界に新風を吹き込んでくれるであります。いま綻びはじめたこの花は、必ずや眞実を結ぶであります。

留学僧諸君、善光寺海外留学僧派遣育英会の将来に期待し大いに精進していただきたい。また、ひろく海外に学ばんとする方々は、遠慮なく応募してほしいと思えます。

華開必結眞実（華開けば必ず眞実を結ぶ）

青葉逢秋即紅（青葉、秋に逢つてすなわち紅なり）

—『永平広録』第七—